

とやま



特集/21世紀のシナリオ
—しあわせ富山をめざして

県政、この一年

県庁探訪/障害福祉課
ふるさとみてある記/井口村

長寿長命

県民カレッジ学長 吉崎四郎

せかせかと熱いお酒をつがれるのが苦手な私は、専らウイスキーの水割りをマイ・ペースで飲むことにしている。日ごろは、俗称だるまを愛飲しているが、ウイスキーはやはりスコッチがいい。オールド・パーというスコッチ・ウイスキーのレットルにあごひげを生やした爺さんの絵がある。これが百五十二歳の長寿を全うしたトーマス・パーというイギリス生まれの怪物だ。

百二歳のとき、近所の娘を強姦し、十八年の刑をくらひ、シャバへ出たのがちょうど百二十歳。それから若い伴侶を得て、見事赤ちゃんが生まれたというから、花嫁はただのお茶飲み友達ではない。

世の中にめでたいことはたくさんあるが、長寿長命はその最たるもの。格式を重んずるイギリスの王室も黙っておれず、トーマス・パーを招待してご馳走をした。パーは喜んで山海の珍味に舌づつみを打ち、皮肉にもそれがもとで消化器をこわし、一世紀半を超える長い長い生涯を閉じた。世にもまれなこのスーパーマンの遺体を解剖してみたら、骨格はしっかりしており、ナニも支障なく健全そのものであったそう。

ると、トーマス・パーがまつられていた。この寺院の墓は、日本の墓と違って床の下に埋められ、碑文が床面に出ている。人は上から生まれ、土に帰るといふ考えがあるからだろうか、墓の上を歩いていて、なんだか申しわけない気がする。ニュートンやダービンの墓を踏みしめては、何かこの国の文化の重みを感じざるを得ない。

ウエストミンスター寺院にまつられるのは主に王室の方々であったが、特に国家に功績のあった政治家や学者、それに芸術家も加えられるようになった。ポエト・コーナーという一隅にはシェイクスピアをはじめキーツ、ディッケンズ、バイロンら歴史に残る偉大な作家の像も飾られている。

日本流にいえば、トーマス・パーのような前科者がこの大寺院にまつられるようになったのは、長寿長命が善悪を超えていかにすばらしいことであるかを示している。万歳は日本人だけでなく人類の祈りであり、願である。

今宵、友から外遊のみやげにもらったオールド・パーの水割りを味わいながら、ニュートンやシェイクスピアとは遠くかけ離れた私は、せめてパーの半分でも丈夫で長持ちしたいものだとしみじみ思う。



ひと

アズ
とやま



菊づくりは仲間づくり

全日本菊花コンクール最高賞受賞 島田洋一さん

「中学生の時美術部に所属していましたが、油絵の展覧会で菊の花を描いているうちに、自分でも美しい菊をつくってみたいと思うようになり栽培を始めました。大阪府枚方市の枚方パークで開かれている全日本菊花コンクール（全日本菊花芸術協会主催）において、全部門中の最高賞である「秩父宮妃殿下杯」を受賞した、庄川町青島の島田洋一さんに受賞の感想を伺いました。

「長年培った菊づくりのノウハウと今年の気候がたまたまマッチしたおかげでうまくいった偶然の産物です。照れ笑いで謙遜する島田さん。笑顔がとっても優しくて印象的です。島田さんはこれまでにも全国規模のコンクールで内閣総理大臣賞をはじめ数々の賞を受けています。また、今年十一月十、十一日に福野町で開かれた全国菊花大会（全日本菊花連盟主催）では、農林水産大臣賞を受賞するなど、その活躍には目を見張るものがあります。

「菊づくりには情報が欠かせません。そういった意味では菊を通していろんな人と友だちになれたことが一番の財産です。自宅で三百鉢もの菊を栽培している島田さんですが、心身ともに充実していないとなかなか納得できるものにはならないそうです。

「今度は全国菊花大会でぜひ高松宮妃殿下杯を受賞したいですね。それと若い人に、私たち菊づくりの仲間に加わってほしい。我流では限界があると思うので、お互いの情報を持ち寄って富山県全体のレベルアップを図っていきたいですね。人なつっこい笑顔で今後の抱負を語る島田さん。その表情には、菊づくりにかける熱い情熱が感じられ、来年どんな美しい菊が花を咲かせ多くの人の目を楽ませてくださいのかとても楽しみです。





地方はロマンの宝庫

'91地方の時代映像祭 in 富山開催



昨年、世界テレビ映像祭に続いて、国内テレビ映像の祭典である、'91地方の時代映像祭 in 富山が十月十七、十八の両日、富山県民会館で開催されました。

同映像祭は、東京、大阪などキー局中心の番組制作が多い中で、地域の自主制作番組のレベルアップを図ろうと、昭和五十五年から始まり今回が十二回目。

初日の十七日は、開会式の後、放送局部門の大賞にノミネートされた三作品が上映されました。引き続き各地のテレビ局で活躍中の女性放送ジャーナリストによるシンポジウム「地方の時代・女の時代」が開催されました。

二日目の十八日は午前九時からミニ・フォーラム「'91映像コンクール参加作品をめぐって」、同十時からは下河辺淳総合開発機構理事長をアドバイザーにしたシンポジウム「地方は生きる。水の王国」からの提言」が開催され、活発な意見や提言が交わられました。また午後一時からは表彰式が行われ、引き続き参加者の投票によって選ばれた富山映像祭賞「脳死」(中京テレビ放送)と、大賞の「豊かな島のゴミ騒動」(山陽放送)、「風の骨」(秋田放送)が上映されました。会場を埋め尽くした参加者は、これら社会の断面を鋭くとらえた作品に見入っていました。



もっとアジアを知ろう!

とやま国際理解のひろば「アジアNOW」



近くにありながら日頃なじみが薄いとされるアジア諸国を広く紹介し、理解を深めてもらおうと、十月十一日から十三日にかけて、とやま国際理解のひろば「アジアNOW」が開かれました。

初日は、谷野作太郎・外務省アジア局長が「アジアの中の日本の役割」について講演。また、三日目に行われた「国際協力の日」論大会では、外国人留学生三人を含む県内の若者十三人が「国際協力」をテーマに熱弁をふるいました。最優秀の県知事賞には、人間交流の大切さを訴えた島正二さんが選ばれました。

その他、アジア諸国映画祭や、お国自慢の料理作りを楽しむ「エスニック味めぐり」、青年海外協力隊パネル展なども行われ、訪れた人々は、アジア諸国に対して新たな理解を深めていました。



立山にまつわる「むかし」と「いま」を一堂に

立山博物館・開館



「神の住む山」立山。その魅力を目で、耳で体感できる拠点施設の誕生です。



立山の自然や歴史を豊富な資料や映像で紹介する施設として完成が待たれていた立山博物館が、十一月一日にオープンしました。開館記念式典には、中沖知事をはじめ関係者約四百五十人が出席。知事の式辞に続いて、佐伯彰一名誉館長の開館宣言の後、テープカットが行われました。

今回新設された施設は「展示館」と「眺望館」。展示館は、らせん階段を組み込んだピラミッド型の建物で、三階建。中は一階からそれぞれ企画展示室、人文展示室、自然展示室となっており、各階で立山の自然や、かつての立山信仰にまつわる色鮮やかな曼荼羅などを目のあたりにすることが出来ます。

また眺望館には、三面マルチスクリーンがセットされ、立山の自然や立山曼荼羅の世界を、迫力ある映像と音響で楽しむことが出来ます。



太平洋を結ぶ長い交流を育てよう

県・アメリカオレゴン州友好県州締結



富山県と米国オレゴン州の友好県州締結の調印式が、十月十九日、富山県民会館で行われ、中沖知事とバーバラ・ロバーツ同州知事が、「相互理解と友好親善を増進し、相互交流を通じて日米関係の拡大に貢献する」ことを約束した協定書に署名しました。国際立県をめざす富山県の海外との友好提携は、中国遼寧省、ブラジルサンパウロ州に続き三番目となります。

調印式後、両知事は記者会見し、「人的交流を中心に、息の長い交流を続けたい」と述べ、今後の交流促進に意欲を示しました。また、ロバーツ知事は富山県の印象を「山が多く海に面しているなど、地形がよく似ている。富山にいくと、オレゴンに戻ったような感じだ」と話し、親しみを表しました。

県はオレゴン州と一九八九年から交流をスタートさせ、昨年からは職員の相互派遣などを行っており、来年五月には、県青年・婦人の翼を派遣し交流をさらに発展させる予定です。

県政、この一年

二十一世紀のシナリオ—しあわせ富山をめざして

中東湾岸戦争、ソ連の政変等、急激な国際情勢の変化の中で、世界経済のリーダーとしての日本の役割は、ますますその重要性を増しています。一方、国内に目を転じてみると、「地方の時代」と言われて、はや十数年が経過していますが、依然、首都圏への求心力は強く、環境問題をはじめとして、さまざまな弊害が生じています。こうした状況のもと、それぞれの地域が交流を深めながら、地域の特色を活かした個性豊かな地域づくりを進めていくことが重要な課題となっています。

富山県では、「日本のパイオニア県」を合言葉に、「しあわせに生きる富山の創造」を目指して、二十一世紀への県づくりのシナリオともいうべき新県民総合計画がスタートしました。この新富山県民総合計画の「明日を拓く人づくり」魅力ある郷土づくり、「活力ある産業づくり」の三大政策に沿って、この一年の動きを振り返ってみましょう。

（明日を拓く人づくり）

健康・福祉の増進

県民だれもが不安のない幸せな生活を営むために、家庭・地域社会・施設の三者が一体となって地域総合福祉を推進することが大切です。このため地域住民の連帯感を高めるふれあいのまちづくり事業を促進するとともに、地域総合福祉を実践する活動グループへの助成を拡大しました。また、来年三月にオープン予定の健康・福祉総合施設（ケアポート庄川）に対しても積極的な助成を行いました。

高齢者に対する施策としては、高齢福祉推進員を大幅に増加するとともに、デイ・サービス事業、ショートステイ事業、在宅介護支援センター事業を大幅に拡充するな

ど、在宅介護に積極的に取り組んできました。また、十一月にはねたきり防止国際セミナーを開催するなど、ねたきり防止対策の推進にも努めました。子供たちの夢と創造性を育む交流の拠点として、こどもみらい館が来年の完成に向けて四月に起工式を行い、本格的な建設に着手しました。三年目に入ったがん対策では、新たに大腸がんの集団検診を実施するとともに、依然として発生率の高い胃がんについても、検診車を増車整備するなど、がん攻略県民プランに基づき県民総ぐるみのがん対策に取り組みしました。

二〇〇〇年国体・インターハイ（平成六年）の本県開催に向けて、四月に、メイン会場となる総合運動公園陸上競技場の本格工事に着手。また、六月には競技会場地市町村が決定しました。

この他、今年から新たに制定された五月十二日の「看護の日」には、制定記念事業を実施し、県民の看護に対する理解促進を図りました。

生涯学習の推進

公民館指導員を三十人から五十五人にするなど県民生涯学習カレッジ事業を充実しました。また、十二月に予定されている産業教育フェアの開催の準備など、生徒活動の活性化を図るとともに、登校拒否児の適応指導教室の拡充に努めました。また、一月には総合教育センターの起工式が行われ、来年の完成に向けて本格的な建設が進められました。

科学・文化の振興

日本一の科学県をめざして富山県科学技術プランを策定しました。

人間と自然のかかわり方を学ぶ拠点として、十一月に立山博物館が開館しました。また、県民芸術劇場を開催するとともに、開館十周年を迎えた県立近代美術館において、第3回世界ポスター・トリエンナーレトヤマを開催するなど、芸術文化活動を推進しました。



▼県展 6/1-6/7



▲いなみ国際木彫りキャンプ 7/20-8/10



▲「看護の日」制定記念事業 5/12



▲第3回世界ポスター・トリエンナーレトヤマ 1991 7/5-9/5



▲県民芸術劇場 9/7



▲全国高等学校選抜バドミントン選手権大会 3/24-27



▲生涯学習国際シンポジウム 10/29



主なできごと



90年12月～91年11月

3	2	1	12	月
5 25	21	14	12 9	日
21	14	12 9	5 4	
14	12 9	5 4	3 2	
12 9	5 4	3 2	31 21	
5 4	3 2	31 21	18 17	
3 2	31 21	18 17	22 20	
31 21	18 17	22 20	19 17	
18 17	22 20	19 17	15 6	
22 20	19 17	15 6	3	
19 17	15 6	3		
15 6	3			
3				

- 第6回イメーজディレクター懇談会 12月定例県議会（15日）
- いきいき富山冬の旅観光キャンペーン（3月15日）
- うおいのある環境づくり会議 TOYAMA NOW IN原宿'90（25日）
- 快適なトイレ推進セミナー
- 高岡社会保険健康センター落成式 わたしたちの壁画'91オープニング（1月31日）
- スノーアートとやま'91点灯式 富山県総合情報センター、総合教育センター起工式
- ホールサムイノウナズキ落成式 第1回北陸新幹線整備問題検討会 第1回ジャパンエキスポ富山'92入場券販売管理本部設立調印式
- 「北方領土の日」街頭キャンペーン 冬季県民レクリエーション大会、雪のシンフォニー、オープニング
- とやま21世紀水ビジョン策定委員会 富山県産業創造センター（テクノドーム）竣工式
- 花と緑の冬のフェスティバル 第1回「とやまのみちBIG作戦」検討委員会
- 第1回とやま健康村（仮称）推進計画策定会議
- コンプスイベントネットワーク委員会（愛称コネット）第1回全体会 富山漁村婦人の日推進大会 2月定例県議会（3月13日）
- ジャパンエキスポPR用風及びぬいぐる

若者と女性の力を社会に

とやま女性プランの改訂に着手するとともに、青年、婦人をイギリス、スウェーデンへ派遣しました。また、来年七月に開催が予定されている国際青年の村に向けて諸準備を進めました。

長寿・余暇社会への対応

高齢者の保健福祉の増進を目的とした富山県地域福祉基金を九月に設置しました。また、長寿社会にふさわしい住宅づくりを促進するため、住みよいかづくり融資事業を拡充しました。

余暇対策では、余暇ビジョンの策定に取り組みました。

魅力ある郷土づくり

快適な暮らしの実現

県民参加の幅広い県土美化運動を推進するため、七月に全国で初のとやま環境財団を設立しました。

また、交通安全対策としては、六月に第一回富山県交通安全青年カレッジを開催し、若者の事故防止を図るとともに、高齢者に対する啓発活動などを実施しました。

魅力ある地域づくり

第一回ジャパンエキスポ富山'92については、来年七月の開催に向けて、会場の本格的な整備を進めるとともに、開催一年前の七月十日から前売り入場券を発売しています。また、JET'92を彩るミスエキスポ富山を選出するとともにJET'92キャラバン隊を結団し、六月には出発式を行い、PRのため県内全市町村と県外へ向けて出発しました。さらに、七月にはJET'92の主要イベントを決定するとともに、残日計を点灯するなどして県民の意識の高揚を図りました。

花と緑の県づくりをさらに推進するため、新グリーンプランを策定しました。また五月には中央植物公園の起工式を行い、日本海側で初の総合植物園に着手しました。

県土の保全と活用

全県域下水道化構想を一層推進するとともに、新富山県総合雪対策計画を策定しました。

また、全国でも初めての水に関する総合的な施策指針であるとやま二十一世紀水ビジョンを策定するとともに、四月には、より多くの県民に自然を大切に、楽しんでもらおうと「とやまの滝」として、三十七箇所の名瀑を選定しました。

日本海側初の海洋博物館となる日本海博物館(仮称)の基本構想策定検討委員会を開くとともに、九月には海洋研修センター(仮称)の起工式を行うなど、日本海ミュージアム構想の推進に努めました。

交通情報通信体系の整備

四月には富山と名古屋間を結ぶコミューター航空が一日二往復、六月には富山・札幌便が一日一往復就航し、既存の富山・東京便を合わせた三路線が就航することになり、空の新时代が幕開けしました。

北陸新幹線については整備問題検討会を開くなど積極的に取り組んできましたが、十月には高岡・金沢間の着工ルート調整案が運輸省に承認され、着工へ向けて第一歩を踏み出しました。

高度情報通信ネットワークや河川情報システムの整備も進めました。

国際化時代への対応

五月に富山県ソ連極東訪問団がソ連沿海地方を訪問し、一年以内に友好提携を締結することで合意し、協定書に調印しました。また、隣人との真の友好をめざすうえでの指針となる環日本海交流拠点構想を策定し、環日本海諸国との交流を推進しました。

また、十月にはアメリカ・オレゴン州からはロバート知事が来県し、富山県と友好県州を締結しました。さらに、富山をPRするために、アメリカ・オレゴン州でトヤマ・セミナー'91を開催しました。



▲県民シンポジウム新とやま女性プランに望む 7/20



▲富山県ゴルフ練習場竣工 7/17



▲第1回富山県交通安全青年カレッジ 6/17~18



▲頼成の森「森林科学館」竣工 8/3



▲JET'92 PR用残日計点灯 9/14



▲JET'92キャラバン隊出発式 6/25



▲県ソ連極東訪問団ソ連沿海地方訪問 5/14~18



▲富山県・オレゴン州友好県州締結 10/19



▲富山県植樹祭・とやま緑の感謝祭 5/12



▲名古屋便就航記念式典 4/23



▲富山・札幌便就航記念式典 6/1

8	7	6	5	4	3	2	1
6 3 28 24 22 20 17 16 11 10 8 5 4 2 29 25 22 20 18 17 15 10 6 5 3	1 29 28 22 14 12 9 2 28 26 23 20 19 14 10 7 1 29 25 24 20 15						

- み贈呈式
- 富山空港21世紀ビジョン懇話会
- とやまの思い出シンポジウム
- 新富山県民総合計画画県民フォーラム
- 第19回全国高等学校選抜バドミントン大会開会式(27日)
- 「とやまの滝」選定委員会
- 富山県食肉検査所・富山食肉総合センター竣工式
- 富山日米協会設立総会
- 県庁前花時計起動式
- 県議会議員選挙
- 富山県立大学入学式
- 「いきいきとやま観光キャンペーン'91」
- 「TAP'90'S北陸キャンペン」オープニングセレモニー
- JET'92テーマソング贈呈式
- TAPエキスポプレス歓迎セレモニー
- 富山・名古屋便就航記念式典
- 総合運動公園陸上競技場起工式
- 第1回ジャパンエキスポ富山'92総合起工式
- 知事のまちなまり(福光町)
- TOYAMAチューリップフェアニュー'91(29日)
- 富山県観光物産センター設立発起人会
- 「とやま賞」贈呈式
- 第42回富山県植樹祭(大島町)
- 「看護の日」記念式典
- 富山県沿海地方友好訪問団結団壮行式(18日)
- ポートセールス推進協議会設立総会
- 知事のまちなまり(婦中町・山田村)
- 富山県中央植物公園起工式
- 県展(7日)
- 全日空富山・札幌便開設
- ソ連沿海地方実務協議団知事表敬
- 知事のまちなまり(宇奈月町)
- 2000年国体・インターハイの会場地市町村決定
- 富山県緑化推進県民会議
- 富山県総合健診センター増築竣工式
- 6月定例県議会(28日)
- 第1回交通安全青年カレッジ(18日)
- 北陸新幹線建設促進富山県民協議会総会
- 富山県北陸新幹線対策連絡協議会総会
- とやまトレッドフェア'91開催(23日)
- 富山県婦人交流国際フェスティバル
- JET'92キャラバン隊出発式
- ヤングフォーラム・イン・トヤマ
- 知事のまちなまり(庄川町)
- 富山県立近代美術館10周年記念式典
- 第3回世界ポスタートリエンナーレトヤマ(9月5日)
- とやま環境財団第1回理事会
- 博覧会開幕1年前および前売入場券発売記念イベント
- ゆとり推進県民会議
- 第1回富山県集落営農推進委員会
- 富山県農業の新規担い手確保対策検討会
- 富山県ゴルフ練習場竣工式
- 県民シンポジウム「新富山女性プランに望む」
- いなみ国際彫刻キャンプ開会式(8月10日)
- 知事のまちなまり(大沢野町)
- 第15回富山県民レクリエーション大会
- 頼成の森「森林科学館」竣工式
- 知事のまちなまり(魚津市)

（活力ある産業づくり）

●新世紀への産業

一月に富山総合情報センターの起工式を行い、本格的な建設に着手するとともに、富山イノベーションパークの整備促進に努めました。
また、九月には遼寧省投資セミナーを開催し、国際経済交流の推進を図りました。

●農林水産業の振興

若い農業後継者を育成するため、富山県農業の新規担い手確保対策検討会を開催し、若者を農業に引き付ける有効策を探りました。
また、三月には県内食肉流通の拠点として日本海側随一の近代的施設である富山食肉総合センターが竣工しました。

●工業の振興

富山県産業の研究開発基地、情報交流の拠点として富山県産業創造センター「高岡テクノドーム」がオープンしました。
また、デザインウェブ'91 in 富山を開催するなど、県内企業のデザイン開発力を育成しました。
伝統医薬を再開発するため、初の伝統医薬シンポジウムを開き、薬業の振興を促進しました。

●商業・サービス業の振興

観光振興や特産品の販路拡大の拠点となる富山観光物産センターを設立し、その整備促進に努めました。
また、もてなしの心を学ぶ拠点として、いきいき富山観光道場を開設して、観光客の受け入れ体制の充実に努めました。

●雇用と勤労者福祉

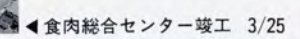
Uターン促進のため、県内産業紹介ビデオやUターンガイドブックの作成に取り組みとともに、東京と富山で「今時若者就職フォーラム」を開催しました。
また、労働時間短縮等を促進するため、ゆとり推進県民会議やゆとりの日を設置するとともに、環日本海諸国の参加を得て第三回全国勤労者綱引大会を開催しました。

施策の実施のために

国際化の進展、県民の健康・福祉の推進、商工行政の多様化等に対応するため、総務部、厚生部、商工労働部等について組織を整備したほか、高度情報班や平成六年に迫ったインターハイを推進するために全国高校総体準備室を設置しました。
県民に開かれた県政を推進するため、県政バス教室や、新聞、テレビなどを通じた広報活動を充実しました。また、富山の魅力のすべてを紹介する写真集やおもしろく分かりやすい漫画を活用したPR冊子の発行、十月の第十二回'91地方の時代映像祭 in 富山の開催など積極的なイメージアップ施策を展開しました。
県花のチューリップを使ってのTOYAMA NOW in 原宿'90やTOYAMA チューリップアベニュー'91を開催するなど、県外でのイメージアップ推進に対しても積極的に取り組みました。
「富山県コンプス計画」がより楽しく、より多くの人が参加できるようにと、「コンプスイベントネットワーク委員会」（コネット）を設立し、イベントに対する積極的な支援をさらに拡充しました。



▲高岡テクノドーム 竣工2/5



▲食肉総合センター竣工 3/25



▲デザイン・ウェブ'91 in 富山 9/28-10/8



▲いきいき富山観光道場 11/14



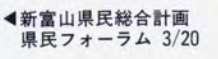
▲TAP 90'S 北陸キャンペーンスタート 4/20-7/31



▲第3回全国勤労者綱引大会・環日本海諸国綱引交流会 9/29



▲新富山県民総合計画 県民フォーラム 3/20



▲コネット夏の親睦会



▲'91ライブとやまティーチン 8/26-28



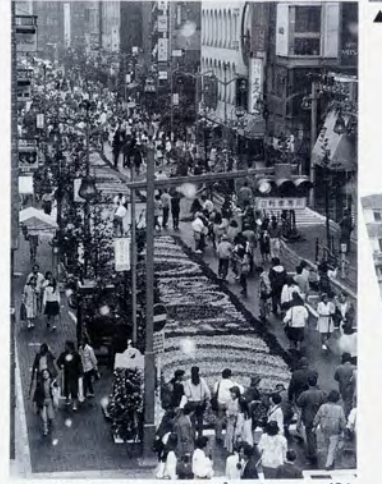
▲「地方の時代」映像祭 in 富山 10/17-18



▲TOYAMA NOW IN 原宿'90 H.2.12.19-25



▲漫画によるPR冊子



▲TOYAMA チューリップアベニュー'91 4/28-29



▲TOYAMA NOW IN 原宿'90 H.2.12.19-25

11	10	10	9
27	23	19	15
14	11	5	1
31	29	19	17
16	15	11	8
2	29	28	18
14	13	11	7
5	4	3	2
26	21	12	

ソ連沿海地方スポーツ交流団来県
21世紀研究会シンポジウム
農村整備シンポジウム
'91ライブとやまティーチン（〜28日）
知事のまちなまり（砺波市）
富山県総合防災訓練（小矢部市）
食品研究所先端技術開発棟竣工式
中国遼寧省長知事表敬
第1回日本海博物館（仮称）基本構想策定委員会
海洋研修センター（仮称）起工式
富山県芸術祭第40回記念式典および県民芸術劇場
大長谷第5発電所竣工式
障害者雇用促進大会
9月定例県議会（〜27日）
JET'92PR用残日計点灯式
富山県いきいき物産展（仮称）発起人会
県営新桜町駐車場起工式
デザインウェブ'91 in 富山（〜10月5日）
第3回全国勤労者綱引大会
第7回富山県育樹祭
第1回富山県生涯学習審議会
とやま国際理解のひろば「アジアNOW」開会式（〜13日）
伝統医薬シンポジウム
第32回全国保育研究大会
'91「地方の時代」映像祭 in 富山（〜18日）
富山県・オレゴン州友好県州締結調印式
第8回特産王国とやまフェスティバル（〜20日）
第1回生涯学習国際シンポジウム in

TOYAMA
北陸新幹線高岡〜金沢間ルート変更案承認
富山県立山博物館オープン
ポタニカルマガジン展（〜22日）
一日部長辞令交付式
いきいき富山観光道場開催
'91とやま夜間景観シンポジウム
一日部長による一日庁議
県立総合衛生学院創立40周年記念式典
ねたきり防止国際セミナー

木を刻む音だけが 静寂の中に響き 伝統の技と熱い思いが 生命を吹き込んでいく

井波の木彫刻・**天神様**

撮影／赤羽仁諭



井波の木彫刻
PJM UP IONAMA

障害者の「完全参加」と「平等」をめざして

レポーター： 藤井 靖代 (ミス宇奈月温泉)



富山県の障害者数は現在約40,000人で、このうち身体障害者が約36,000人、精神薄弱者が約4,000人となっています。障害者及びその家族は精神的、肉体的、経済的に大きな負担を負っている場合が多く地域社会全体の協力が必要です。そのため障害者が存在する社会こそが通常の社会であるとし、県民一人ひとりが、障害者に対する理解と認識を深めることが大切です。

障害福祉課では、障害と障害者に対する県民の正しい理解の促進を図るため、様々な普及啓発活動を行うとともに、生活環境の改善や教育の充実等の障害者のための施策を推進しています。

障害者問題への理解の促進

私達は、「障害者福祉」という言葉にピンとこない部分が多いと思います。私もその一人でした。では、どのようなことをやっているのでしょうか。障害福祉課では「住みよい福祉のまちづくり」をスローガンに様々な事業を展開しているそうです。今日はその一部を紹介いたします。

国連は、障害者の「完全参加と平等」をテーマに、一九八一年を「国際障害者年」と定め、また、一九八三年から一九九二年までの十年間を「国連障害者の十年」として、世界的に障害者福祉の増進を提唱し、奨励しているそうです。

県でもこれを踏まえ、障害のある人もない人も共に地域や家庭で暮らしていけるような社会をつくるという考え（ノーマライゼーションの理念）のもと、在宅福祉サービスの推進をはじめとして、障害者福祉の充実を図っているそうです。また、段差のスロープ化、公共施設におけるエレベーターの設置、車いす専用トイレ整備などハンディキャップを持つ人が快適で安全に行動できる生活環境づく

りを推進しています。ところで、十二月九日は何の日かご存じですか。この日は「障害者の日」なのです。国際障害者年を記念し、障害者問題に対する理解と認識を更に深めるために定められたもので、県内でも毎年様々なキャンペーン活動が繰り広げられています。この他、障害者への理解を深めてもらうだけでなく、障害者自身の社会参加意欲を高めるために、富山市内のデパートに障害者の方々が制作した作品等を販売する「福祉の店」を設置したり、全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣等も行っているそうです。また、今後の障害者福祉を進める上での問題として、障害者の高齢化と重度障害者の増加があります。これに対応するための、福祉施設の整備や住宅改善への援助なども進めているそうです。

ハングアウトのりこえて

次に訪れたのは、富山県総合リハビリテーションセンターです。ここでは小さな子供からお年寄りまで様々な訓練を行っています。私は、その中高志療護ホームと高志リハビリテーション病院を見学しました。

高志療護ホームは、重い障害のため人手を借りないと日常的な動作ができず、家庭で生活することが困難な方々が、共同生活しながら機能の維持のための訓練を行っているところです。私が訪れた時は自由時間で、入所者の方はパソコンやジグソーパズルなどで楽しんでおられました。また、俳句や生け花などのクラブ活動もあるそうです。廊下には、障害があるとは思えないほど、すごく上手な貼り絵や書などの作品が飾られており、入所者



▼水治療室

の方々の努力や才能に感心させられました。高志リハビリテーション病院は、県内唯一のリハビリ専門病院で、身体障害者の機能回復や社会復帰に必要な治療や訓練を行うだけでなく、リハビリ技術の研究開発や研修会なども行っており、県内におけるリハビリテーションの中核的な役割を果たしています。ここでは、理学療法（機能訓練、水療法、

障害福祉課 奥田課長 ▶



温熱光線療法）や作業療法によって、障害者の身体機能の回復を図り、また、日常動作の訓練やカウンセリングによる心理療法等も実施することによって社会復帰の方向へ導いています。私が見学したとき、ちょうど訓練が行われており、患者の方々や先生方が機能回復のため熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。

◎ この取材で私は、自分の障害に対して一生懸命に取り組んでいる人たちの目の輝きやその生活をすこしでも感じることができて嬉しく思っています。また、私達はもっと障害者の方々とふれあい、理解を深め協力していかなければならないと思いました。

ふるさと
みてある記

井口村

井口村の赤祖父山周辺は、樹齢数百年といつた珍しいユキツバキの群生地として知られている。昭和五十二年に村の花を「椿」と制定して以来、日本の椿村をめぐり、村を挙げて様々な取り組みがなされている。そのメイン行事として、今年三月、「第一回のくち椿まつり」が開催された。この椿まつりの実行委員長である塚崎さんに話をお聞きした。

井口村を巨大な「ツバキ苑」に いのくち椿まつり実行委員長 塚崎正一郎さん



いのくち椿まつり実行委員会
塚崎正一郎さん



井口村の概要

人口 1,359人(10月1日現在、県人口統計調査より)
面積 11.50km²

ブナの原生林のある赤祖父山周辺は、春になると全国的にも珍しい福寿草やユキツバキが咲き誇る。毎年5月に赤祖父湖で開かれる「ヘラブナ釣大会」は、大勢の人でにぎわう。

「とにかく釣客の皆さんは朝早いからね。月に二、三回は、この赤祖父湖で、ヘラブナ釣同好会の例会があるんだけど、その時には朝早く起きてきて、二十人分ほどのおにぎりやみそ汁なんかつくってあげたりするよ。」と話すのは、この「湖畔あかさぶ」を管理している沢田さん。ご本人もヘラブナ釣は相当に好きなのである。「ヘラブナは釣るのを楽しむ魚。釣っては放して、また釣る。賢い魚で、なかなか釣れない。そこがヘラブナ釣のおもしろい所なんです。」この赤祖父湖は、水がきれいで大物が多いというので、石川や福井、遠くは愛知県からも釣客が訪れる。「今年五月のヘラブナ釣大会は、本当にたくさんの方でにぎわいましたね。三百人くらい参加してたのかなあ。こどもでいっぱいになりましたよ。」現在村では、赤祖父湖周辺環境整備事業として、バットゴルフ場や広場を造成中である。「これからも釣客の皆さんはもろんのこと、家族連れの皆さんにも気軽に休んでもらえるような場所になりたいですね。」ヘラブナに始まりヘラブナに終わると言われる釣の極致をあなたも一度体験してみられては……。



「ただ椿を展示するだけならいろんな所でやるとるから、それじゃ面白くないと思って、いろんなことを企画してみたいですよ。」会場の入口に椿を使った巨大なモニュメントを配し、樹齢四百年と言われる真光寺のヤブツバキの前では、フルートの演奏に合わせて生け花をするという「パフォーマンス」が熱演された。もちろんツバキの切り花や盆栽は、珍しいツバキが自生すること有名な伊豆大島や長崎県五島列島からの友好出展もあり、約五百点が展示された。「一番嬉しかったのは、資生堂の二代目の社長さんが非常に椿の好きな方だったそうで、その方が収集された椿に関する江戸時代の貴重な書物や絵巻物を借りて展示できたことですね。」今年は三日間のお祭り期間中に、約七千五百人の入場者があり、そのほとんどが村外の人だったとか。「村の人たちも、ツバキをあしらった染物や工芸品を作ったりと、ツバキが村の生活に溶け込んできたね。だからこそこの村挙げての『椿まつり』を、『ツバキ』と言えば井口村」と言われるくらい有名なものにしたよね。来年はもっと面白

自然とのたたかいですちや

じねんじよ栽培にかける おばちゃんたち

「じねんじよ。すりおろしたものをあつたかいご飯やソバにかけて食べるのが絶品。井口村には、この『じねんじよ』を村の特産にしよう」と頑張っているおばちゃん達がいる。



▲じねんじよ栽培の柳田さん、山崎さん、吉田さん、前田さん(左から)

八百平方メートルほどの狭い畑で、一シーズンに八百本ほどのじねんじよを作っている。じねんじよを畑でつくるには、一本一本太いパイプに入れたなえを四月頃に植え、掘り出し作業に入る十一月頃まで、なえが枯れないようにこまめに水をかけたり、夏場には土の温度が上が

釣客の

憩いの場として

「湖畔あかさぶ」 沢田健三さん

ヘラブナ釣のメッカ、赤祖父湖の湖畔に木目も美しいログハウス調の建物がある。「湖畔あかさぶ」は、釣人たちが集い、軽く食事もできる休憩施設である。



▲湖畔あかさぶ 沢田健三さん



▲赤祖父湖畔の木目も美しい「湖畔あかさぶ」

りすぎないようにもみながらをまいたり、大変な作業が続く。「会社を定年になった私たちが、世間話するついでにと思って四年前に始めたんだよけど、とにかく大変やね。今年は特に雨続きで、イモも細いのばかりやしね。」とガックリ肩を落としながら話すのは柳田さん。今年はお風十九号の影響で、イモのでき具合は芳しくなかったよ。うだ。「もともと山にあるイモやから、あんまり栄養のある土では育たないし、やこい土でもだめ。とにかく難しいがですちや。」今は特製の箱につめて、

▶味で勝負の井口村の「じねんじよ」
ほど出荷しているが、八人がかりでも、これが多い手いっぱいだそう。今年も雨続きでイモは細くなってしまったけど、味には自信があるがイヤ。他でも作っとるみたいやけど、井口のは自然のままの形で作っとるからね。」と言う吉田さん。おばちゃんたちが手間ひまかけた「じねんじよ」。アツアツのご飯にかけてぜひ一度ご賞味あれ。

「富山県住みよる家づくり資金融資」

◎申込案内



県では、県内に自ら居住するために、住宅を新築・購入、又は改良される方に対し、低利で資金を融資します。
 なお、今年度から「長寿社会対応住宅」を融資対象住宅に加え、この住宅を取得される場合は、更に低利で資金を融資します。

- (1) 融資限度額及び償還期間
 新築・購入 320万円(20年)
 改良・中古 200万円(10年)
 但し、公庫資金の1/2以内に限る。
- (2) 融資金率
 一般 6.0パーセント

老人同居住宅、心身障害者同居住宅等一般住宅に適用。
 〈特別〉5.0パーセント
 長寿社会対応住宅、耐雪住宅、融雪住宅、自然落雪住宅に適用。
 ※申し込みは、平成4年2月28日まで、各金融機関で受付けています。
 ※その他、詳細についてのお問い合わせは、左記まで
 富山県住宅供給公社
 ☎0764・32・5131
 県庁建築住宅課
 ☎0764・44・3355

消雪用地下水の合理的利用について

地下水は、供給と利用がバランス良く行われれば永久的に利用できる県民共通の貴重な資源です。しかしながら、近年、道路や駐車場用の消雪設備が急速に普及し、冬期間にはこれらの消雪設備が一斉に稼動することにより、大幅な地下水位の低下を招く恐れがあります。消雪設備の稼動にあたっては次の事項に十分留意のうえ、地下水の合理的利用及び節水に努めましょう。

- ① 消雪設備の管理者を定め、降雪時以外は無駄な散水は行わないこと。
 - ② 降雪感知器の維持管理を徹底するとともに、まだ降雪感知器が取り付けられない消雪設備については、できるだけ取り付けること。
- 問合せ 県庁公害対策課又は最寄りの市町村公害担当課

犯罪を防ぎ

年の瀬を安全に

警察では、この時期に、皆さんの安全を守るための特別警戒活動を実施することになっています。皆さんも犯罪被害にあわないよう、次のことに気をつけましょう。

- ポーナスなど大金は、なるべく家に置かず、やむを得ず家に置く場合は、発見されにくい場所に小分けして保管しましょう。
- ひったくりなどの被害にあわないよう、バッグ等はしっかりと抱えて持ち、大金の出し入れは、二人以上で行いましょう。
- ポーナスを狙った粗悪商品販売や詐欺的商法などに不意に契約したり、集金を装った二重集金人に現金を渡すことのないよう注意してください。

～犯罪と事故をなくして
 明るい年を～



今年の税金、納めましたか 12月は納税強調月間です

そろそろ年の瀬も迫ってきましたが、富山県へ納め忘れの税金はありませんか。もし、ありましたら、お手元の納税通知書又は納付書をご持参のうえ、最寄りの金融機関又は県税事務所でお早目に納めてください。

なお、12月28日(土)～1月3日(金)までの間、県税事務所の窓口業務を休ませていただきます。年末に税金を納められる方は、金融機関をご利用ください。

●しあわせ富山 ささえる県税●

県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所まで納めてください。

●県税の所管区域図(平成3年4月1日現在)



県税の取扱い・相談は

県税についての相談や苦情がありましたら、お気軽に下記の県税事務所までご連絡下さい。

事務所等	所在地
富山県税事務所	富山市舟橋北町1-11 ☎(0764)41-2551
高岡県税事務所	富山市新庄町馬場39-6 ☎(0764)24-9211
自動車税センター	高岡市赤祖父211 ☎(0766)21-9411
魚津県税事務所	魚津市新宿10-7 ☎(0765)24-5311
砺波県税事務所	砺波市幸町1-7 ☎(0763)33-5151
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111

★国の税金は税務署へ
 市町村の税金は市役所または町村役場へ

戦傷病者等の妻の皆様へ

次の方に特別給付金が支給されます。

- (1) 昭和58年4月2日以降に戦傷病者等と婚姻した妻又は同日以降にじ後重症により第五款以上の戦傷病者等となったものの妻であつて、平成3年4月1日において夫が第五款症以上の増加恩給等を受けていた方。(基準日変更対象者等)

- (2) これまでに一定の特別給付金受給権を取得した妻であつて、昭和58年4月1日から昭和61年9月30日までの間に、夫が戦争公務による傷病以外の原因により死亡した方。(特別給付金対象者)

給付内容 額面5万円

給付内容 額面15万円(軽症者半額)

5年償還の国債

問合せ 県庁社会福祉課恩給係
 ☎0764・31・4111 内線3427

はたらく意欲を
 応援したい。



「はたらく意欲を応援したい」
 平成3年10月1日
 富山県最低賃金がわかりました

日額 4,212円
 時間額 527円

(1) この最低賃金は、常用・パートを問わず富山県内すべての労働者に適用されます。
 (2) 産業によっては、この最低賃金より高い産業別最低賃金が適用されるものがありますのでご注意ください。
 (3) この最低賃金には、精皆動手当、通動手当、家族手当、時間外手当などは含まれません。
 ※詳しいことは、富山労働基準局または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせ下さい。
 富山労働基準局 ☎0764・32・2727

建築士の実態調査

県内在住の建築士（一級・二級・木造）を対象に、実態調査を行っています。

平成4年3月末日まで

(3) 調査票の配布場所及び届出先

- ・(社)富山県建築士会・各支部
- ・富山県土木部建築住宅課・各土木事務所

問合せ

(社)富山県建築士会
富山市愛宕町二丁目四の五
☎0764・33・1254

この実態調査は建築士の資質向上のための基礎資料を整備するため全国一斉に実施されているものであり、御協力をお願いします。

- (1) 調査事項
- 住所、勤務先、業種の種別等
- (2) 調査期間

年末・年始の交通安全県民運動

北陸路 無事故でつなごう ゆく年くる年

スローガン

年末・年始は、交通の混雑、降雪等により交通環境が悪化するほか、飲酒の機会が多く気ぜわしさも加わって交通事故の多発が予想されます。道路を利用するドライバー、歩行者、自転車利用者など全ての人が交通ルールとマナーを守ることが大切です。北陸3県統一で年末・年始の交通安全県民運動が次とおり実施されますが、それぞれの立場で運動に参加しましょう。

期間
12月11日(水)～平成4年1月10日
（金までの一カ月間）

- 重点
- 飲酒・暴走運転の防止
 - 積雪・凍結時の交通事故防止
 - シートベルトの着用徹底
 - 迷惑駐車等の追放



土壤の汚染に係る環境基準の設定について

土壤の汚染状態の有無を判断し、改善対策を講ずる際の目標となる土壤汚染に係る環境基準を次のとおり設定しました。

項目	環境基準	
	農用地	農用地以外
カドミウム	溶出検液1ℓ中に0.01mg以下かつ、米1kg中に1mg未満	溶出検液1ℓ中に0.01mg以下
シアン、有機燐、アルキル水銀、PCB	溶出検液中に検出されない	
鉛	溶出検液1ℓ中に0.1mg以下	
六価クロム	// 0.05mg以下	
砒素	溶出検液1ℓ中に0.05mg以下かつ土壌1kg中に15mg未満※	溶出検液1ℓ中に0.05mg以下
総水銀	溶出検液1ℓ中に0.0005mg以下	
銅	土壌1kg中に125mg未満※	

※砒素及び銅に係る農用地については田に限る。
調査方法や基準を超えた場合の改善対策等の詳細については、県庁公害対策課指導係までお問い合わせください。

☎0764・44・3144

平成3年工業統計調査の実施について

通商産業商では製造業を営む事業所等を対象に平成3年工業統計調査、石油等消費構造統計調査を実施します。

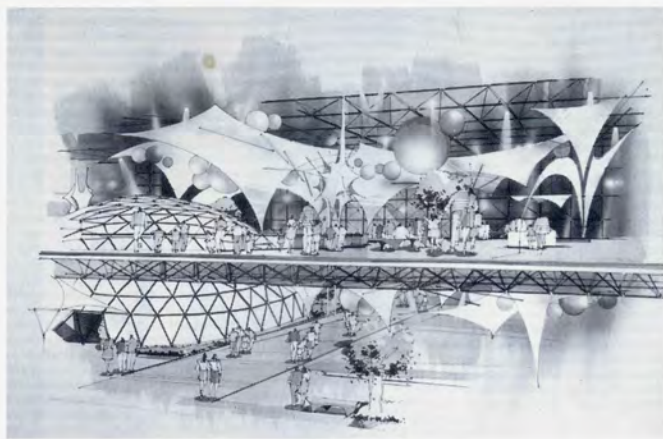
- ・調査期日 12月31日現在
- ・調査方法 調査員証を携帯した調査

調査員が事業所を12月下旬に訪問し、調査票の配布収集をします。
なお、収集された調査票の内容は秘密とされ統計作成以外の目的には使用されません。

この調査についてのお問い合わせは、市町村統計主管課、または、富山県庁統計課商工係
☎0764・31・4111 内線3386
にお問い合わせいただけます。

「エキスポとやま博」

第1期 前売り入場券発売期間 締切迫る



★入場料 (単位：円)

区分	前売入場券		当日入場券	JETゴールドカード	
	第1期	第2期		第1期	第2期
大人	2,000	2,250	2,500	4,000	5,000
生徒	800	900	1,000	1,600	2,000
子ども	400	450	500	800	1,000

(注) 大人は18歳以上、生徒は高校生と中学生、子どもは3歳以上の幼児と小学生。区分は観覧者が入場する日現在を適用します。その他、当日入場券種には、特別割引入場券(心身に障害のある方)、一般団体入場券、学校行事団体入場券があります。

エキスポとやま博の第1期前売り締切が12月31日に迫りました。前売り入場券には、ハワイ旅行など豪華賞品の当たる「抽選応募券」が付いているほか、料金も当日入場券の2割引になっていますので、まだ購入されていない方はお早めに！
オススメします！お得なJETゴールドカード
開催期間中何回でも入場できる大変お得なパスポートタイプの入場券です。入場される本人の写真をご自分で貼付するもので、このカードで、エキスポとやま博の駐車場料金も割安になります。
☆入場券は関係機関(主催者団体等)のほか、旅行代理店、JR各駅(無人駅を除く)、県下の主要プレイガイド等で販売されています。
☆前売り入場券の発売期間
第1期：平成3年7月10日～平成3年12月31日
第2期：平成4年1月1日～平成4年7月9日

募集 一 言葉 標

農業用水やため池での水の事故を防止するため、次のとおり言葉とポスターを募集します。

○内容
「用水はこわい」とのイメージを避け、水に親しむとともに水の事故を防ぐものとしませう。

〈標語〉
ハガキで応募ください。ただし、ハガキ1枚につき記載できるのは2点までです。
〈ポスター〉
B3(縦51cm、横36cm)、縦書き、6色以内とします。

○応募方法
ハガキ及びポスターの裏面に住所、氏名、電話番号、職業(または学校名、学年)を必ず記入してください。

○締切
平成4年1月15日(当日消印有効)

○応募・問合せ先
〒930 富山市新総曲輪一番七号
県庁耕地課
☎0764・31・4111

農業用水 水の 事故防止

○表彰
優秀作品には賞状と副賞を授与します。
○応募作品の著作権は富山県に帰属します。

(内線4343)

- 10月11日 第14回富山県子どもフェスティバル(～13日)
とやま国際理解のひろば「アジアNOW」(～13日)
- 10月14日 県人事委員会勧告
- 10月16日 富山市堀川南土地区画整理事業完工式
- 10月17日 高齢雇用促進大会
'91「地方の時代」映像祭 in 富山(～18日)
- 10月18日 第3回県民カレッジフェスティバル
- 10月19日 富山県・オレゴン州友好県州締結調印式
富山県発明とくふう展(～20日)



第8回特産王国とやまフェスティバル(～20日)



富山県職業能力開発フェア(～20日)

- 10月22日 いきいき富山第4回健康と長寿の祭典(～23日)



- 10月25日 第31回富山県デザイン展(～28日)

- 10月27日 第9回富山県駅伝競争大会



- 10月29日 第1回生涯学習国際シンポジウム in TOYAMA

- 富山・沿海地方文化交流シンポジウム

- 11月1日 富山県(立山博物館)開館記念式典

- 11月2日 平成3年度富山県功労表彰式

- 富山県女性ネットワークセミナー(～3日)

- 11月8日 富山県農村文化賞表彰式

県民カレッジ ビデオ講座 特別公開講演会

日時 12月14日(土)
14時～16時

場所 富山県教育文化会館

演題 「風土と住まい」

講師 放送大学教授
本間博文先生

受講料 無料(整理券が必要)

申込・問合せ先 県民カレッジ
☎0764・41・8635

第1回 富山県高等学校 産業教育フェア

職業高校で学ぶ生徒達の学習成果等を発表し、広く県民一般に産業教育について紹介します。

- *生徒個人及び共同製作による作品の展示
- *生徒達による作品のデモンストレーション
- *パネル等による学科紹介

参加学科 工業科、商業科、農業科、水産科、家庭科、衛生看護科

期日 12月14日(土)～15日(日)

入館 10時～16時(入館無料)

会場 富山県民会館地下展示室

問合せ 富山県教育委員会指導課 産業教育係
☎0764・31・4111(内線4617)

○希望により作品の一部を即売します。

平成4年 1月街頭献血日程

日	曜	場	所	時	間
6	月	砺波市役所前		10:00	～15:30
9	木	新湊市役所前		10:00	～15:30
11	土	魚津市サンプラザ前		10:00	～15:30
15	水	富山西武デパート前		10:00	～16:00
15	水	J R 高岡駅前		10:00	～15:30
17	金	小矢部市役所前		10:00	～15:30
18	土	富山西武デパート前		10:00	～16:00
19	日	富山西武デパート前		10:00	～16:00
20	月	入善町役場前		10:00	～15:30

*富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除)、献血を受け付けています。

富山県立近代美術館企画展

「わたしたちの壁画展'92」



富山県内の小・中学生が学校ごとに共同制作した大作を展示する「わたしたちの壁画」第11回展を開催します。今回は小学校21校、中学校6校と県立養護学校2校の総勢約二千人の生徒が参加し、約半年間をかけてたまたみ8枚もの大きさの絵画を制作しました。

いずれの作品も、子どもらしい創意に満ちたすばらしい力作ばかりです。また会期中には、子どもたちのためのコンサートや美術講座、映画会などもあわせて開催します。

開期 12月21日(土)～2月2日(日)

休館 月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料 一般200円 高大生160円
小中生100円

▼開期中の行事については近代美術館へお問い合わせください。
☎0764・21・7111

埋蔵文化財センター展示室

企画展

「富山の貝塚—縄文時代のタイムカプセル—」

県内の貝塚などの遺跡から出土した考古資料を展示し、富山の縄文時代の生活の様子と特色をさぐります。

期間 平成3年12月10日(火)から平成4年3月31日(火)まで

休館日 第2・4土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月14日)

入場は無料

※詳しくは、富山県埋蔵文化財センターまで
☎0764・34・2814



表2 エッセイ/吉崎四郎

P1 ひと/島田洋一

P2 クローズアップ

① アジアンウ

② 91地方の時代映像祭 in 富山

③ 富山県オレゴン州友好県州締結

④ 立山博物館開館

特集/県政、この一年

P6 PIN UP TOYAMA

P12 撮影/赤羽仁論

P14 県庁探訪/障害福祉課

P16 ふるさとみてある記/井口村

P18 県からのお知らせ

●表紙撮影/滝川邦彦(日本写真家協会会員)

県民の県政に対する理解と関心を深めるため今年も11月11日に一日部長が行われました。企画県民部長になった千田篤さんは、万葉集全20巻朗唱の会の発案者としても有名ですが、一日部長最初の仕事、一日部長決裁を無事終えて次の視察地へと元気に県庁を出発しました。



県政については

- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411代
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311代
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151代

消費生活については

- 消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

交通事故については

富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111内4400

相談110番

家庭問題・悪質商法・冤せい剤など、どんな相談にも応じます。

☎(0764)42-0110

シルバー110番

高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

物価ダイヤル

物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。

☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)

県からのホットニュース、見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

TV RADIO NEWS

テレビ広報

- チューリップテレビ 毎週土曜日AM9:30~9:45
「志の輔・陽子のふるさとトーク」
- 北日本放送 毎週日曜日AM11:00~11:30
「こんにちは富山県です」※翌日同時間再放送
12/1 40周年 富山県芸術祭
12/8 ねたきりをなくそう
12/15 スタッドレスタイヤと安全運転
12/22 科学プラン策定
12/29 県政この1年
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

◆新しくオープンした立山博物館へ行ってきました。とにかく驚きと感動の連続でしたが、中でも特に良かったのは「遙望館」。三面マールスクリーンでみたSFXを駆使した立山曼荼羅の映画は、背筋がゾクゾクするくらい迫力がありました。(T)

♥オレゴン州との友好提携は、富山県の歴史の一ページをかざる重要なものだけに、緊張しっぱなしで、かなり疲れるものでした。しかし、取材の終わりに、ロバート知事に握手していただいたことが、とても嬉しく、これからの取材への励みにもなっています。(A)

★参加者による投票で決定した富山映像祭大賞の「脳死」。中京テレビ放送制作のこの受賞作を見て考えさせられた。というのは、この作品は脳死状態での臓器移植の是非についてはではなく、脳死を乱発させている日本の救急医療の後にスポットライトを当てていたからである。映像の特性を十分に生かした迫力満点のこの力作は、私の脳死に対する認識をすっかり変えてしまった。テレビ映像の果たす役割は大きい。(M)

とやまの心象

「建築百選」以降

雪おろしからの解放

雪に強い住宅3方式

融雪型モデル住宅(富山市月岡グリーンタウン)



56豪雪を契機に、富山県では「富山県総合雪対策条例」を昭和60年に制定し、雪による障害の克服や雪の利用促進など、総合的な雪対策が進められてきた。その中でも雪おろしからの解放を目指した「雪に強い住宅づくり」の研究開発と普及が積極的に取り組まれ、今日では県民に幅広く推奨できる3方式が明確に示されるまでに至っている。

その内の一つが、積雪2m(約600kg/m²)にも耐えられるように、柱や梁などの部材を太くした「載雪型住宅」である。この方式は一般の新築時に基本となるもので、県では主要構造部材の断面寸法を定め、融資制度を設けてその普及を図っている。その好例が上市町営和合住宅である。

もう一つは、「自然落雪型住宅」と呼ばれるもので、この方式は自然環境が厳しく、平年でも積雪2mをこえる場合に、屋根雪を自然落下されるものである。この方式の好例は上平村立楽雪住宅で、落ちた雪を沢水で融かす融雪池を併設するなど、密度の高い設計が評価されている。

そして3方式の中でも、今後ますます深刻さを増す高齢化社会や既存住宅への対応などに応えられる切り札として、注目を集めているのが「融雪型住宅」である。こ



▲載雪型モデル住宅(上市町営和合住宅)



▲自然落雪型モデル住宅(上平村立楽雪住宅)

写真/風間耕司(日本写真家協会会員)
文責/岡田順一(富山エディターサロン会員)

冊子「融雪型住宅」のお問い合わせは
富山県建築住宅課まで☎0764-31-4111(内線4215)

の方式は、灯油・ガス・電気などの熱源を使って屋根面を加熱し、積もった雪を融かす設備を備えたもので、給湯や床暖房などの複合機能を持たせることも可能な点が魅力的な要素になっている。

但し、融雪型は他方式と比べてエネルギーを消費するため、地球規模でエネルギー資源や環境問題が厳しく問われる今日、手放しに推奨するには難しい一面がある。この融雪型の普及を考えるには、エネルギーを浪費しない「省エネ」タイプであることが最大の前提条件となるのは当然のことである。加えて、景観を損なうような見苦しい設備引き出しのものであってはならないし、あまり高額な設備投資を必要とするものであってはならない。

以上のような前提条件を踏まえながら、基礎実験棟や融雪モデル住宅による検証結果を公表した「融雪型住宅」という県資料によれば、屋根下配管方式による下層部分融雪(瓦が見えるほど完全に融雪するのではなく、瓦と接する積雪の下層部分だけ融雪して屋根の積雪量を減らす)運転を行うことで、かなりの省エネが可能であることが実証されている。詳しく解説された県の資料は、融雪型住宅を考える県民にとって最良の手引書となるであろう。

今、雪と暮らす「発想の転換」が必要だ。

いきいき富山冬の旅観光キャンペーン

スタート

H・3・12・15 ㊤ ▼ H・4・3・15 ㊤



きらめき、とまめき、誘惑TOYAMA
 キャンペーン期間中
 県内各地で味祭りや雪祭りなど、冬のいきいき富山ならではの魅力的なイベントが開催されます。



12月15日(日)～2月2日(日)
 とやまスノーピアード'92(富山城址公園ほか)

県内各スキー場では多彩な催し物が予定されています。



2月7日(金)～9日(日)
 利賀そば祭り'92
 (利賀村中村)



1月18日(土)～19日(日)
 いきいき富山日本海なべ祭り(高岡テクノドーム)



2月1日(土)～2日(日)
 宇奈月温泉雪のカーニバル
 (宇奈月温泉)



FIRST JAPAN EXPOSITION IN TOYAMA '92
 第1回ジャパンエキスポ富山'92

会期/平成4年7月10日金-9月27日(日)80日間 会場/県民公園太閤山ランド